



■公益財団法人 長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 平成 27 年度事業報告
- 継承部会・平和案内人・被爆体験を語り継ぐ「永遠とわの会」について
- 被爆 71 周年平和関連行事の紹介
- 原爆死没者名簿風通し
- アジア青年平和交流事業 企画募集、発表・審査会のお知らせ
- 通常理事会、定時評議員会の開催報告
- TOPICS! (被爆者健康講話のお知らせ、「会員の広場」お便り募集 ほか)

PEACE GUIDE

私たちが
案内します

継承の担い手として5月にデビューした 第6期生平和案内人



平和案内人育成講座修了式 (2016年3月8日 原爆資料館平和学習室)

平成27年度 事業報告

被爆70年だった平成27年度、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指し、長崎平和推進協会は新たな事業や、今までの事業を拡大するなど、皆さまの協力をいただきながら様々な取り組みを行いました。



平和推進事業

① 発刊事業	▶▶▶	1,076,829 円
② 啓発事業	▶▶▶	3,274,132 円
③ 調査研究	▶▶▶	130,700 円
④ 育成事業	▶▶▶	5,385,543 円
⑤ 人件費	▶▶▶	19,095,567 円
⑥ その他経費	▶▶▶	3,462,613 円

被爆70年ナガサキ原爆写真展 in 長崎市立図書館

I 平和推進事業 ▶▶▶ 32,425,384円

新規

被爆70周年
新規事業

拡大

被爆70周年
拡大事業

① 発刊事業

会報「へいわ」（年4回）、協会の事業概要をまとめた「平和のあゆみ」（年1回）、情報BOX（毎月）の発行、会員勧誘リーフレットの作製

② 啓発事業



被爆体験講話者の派遣

被爆の実相を伝えるため、修学旅行生等に被爆体験講話を実施した。

派遣実績 1,369 件 (175,641 人)
小学校 570 件 中学校 428 件
高校 244 件 一般 127 件



被爆体験講話者の県外派遣

原爆について知る機会の少ない県外の方々に被爆体験講話を聞いてもらうため、講話者を派遣した。また、長崎県主催事業に協力した。

【派遣実績】青森県、宮城県、福島県（2市）、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、岐阜県、静岡県、三重県、大阪府、鳥取県、広島県、宮崎県（計15件）
県内10自治体、県外11大学



国連軍縮週間行事「市民のつどい」

国連憲章が発効した10月24日から1週間の「国連軍縮週間」に合わせ、平和意識の高揚に寄与するために開催した。戦時食・エコ風船・折り鶴コーナー、ミニコンサート、原爆被災写真展、ポップコーン・綿菓子コーナーなど

開催日：10月24日

場所：原爆資料館階段下広場



新規

被爆70年ナガサキ原爆写真展

原爆被災者の救護所になった新興善小学校跡地で協会の写真資料調査部会が約130点の写真を展示した。

期間：7月22日～8月3日

場所：長崎市立図書館多目的ホール
入場者：約3,600人



拡大

姜尚中氏講演会

「ナガサキとフクシマの間 - 核なき世界を求めて」

満員の入場者の胸に強く訴える講演内容であった。

開催日：12月13日

場所：平和会館ホール

入場者：約650人



原爆被災写真パネル、DVD（ビデオ）の貸出

修学旅行等の事前学習や写真展等の開催に役立ててもらうため、貸し出しを行った。

写真パネル：19件

DVD（ビデオ）：202本

拡大

③ 調査研究

平和・軍縮関係の会議やシンポジウム等に協会役員及び職員を派遣し、情報収集や関係機関との交流・意見交換を行った。

④ 育成事業



部会活動

平和意識の啓発・高揚を図るために、協会会員で組織する4部会が自主的な活動を行った。

- ① 継承部会 (44人)
- ② 写真資料調査部会 (9人)
- ③ 国際交流部会 (23人)
- ④ 音楽部会 (11人)



アジア青年平和交流事業

県内の高校・大学生が提案した平和に関する企画を、若者自身の手で実施した。

- ・活水高等学校平和学習部「ふりそでプロジェクト」
- ・長崎外国語大学「国際交流プロジェクト」
- ・長崎大学「Peace'story JPN」
- ・長崎県立大学「金村研究室」



平和活動支援、秋月グラント

協会の活動趣旨と合致するシンポジウム、音楽会、外国人弁論大会などの活動に対して共催・後援及び助成を行った。



平和案内人派遣

修学旅行生や観光客を対象に、原爆資料館や追悼平和祈念館、被爆遺構碑めぐりなどのガイドを実施した。

- [利用者数] 資料館常駐 10,853人
 碑めぐり予約 18,353人
 資料館予約 2,867人



平和案内人育成

平和案内人の需要と重要性が高まっていることから、新たに第6期生を育成した。

- 講座期間 12月5日～3月8日
 (全15回)
 第6期生修了者数 30人

新規

II 長崎原爆資料館運営事業 (長崎市から受託) ▶▶▶ 16,614,555円

原爆資料館展示室での観覧料収納や、正面玄関での総合案内をはじめ、展示の案内や平和公園周辺の被爆遺構も含めた案内を行った。

III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業 (長崎市から受託) ▶▶▶ 5,010,445円

原爆資料館の図書室において、原爆被爆の実相や平和推進に関する様々な書籍の購入や資料の収集、整理を行った。

IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業 (国から受託) ▶▶▶ 207,032,869円

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、平成15年に開館した追悼平和祈念館の管理・運営や、原爆死没者の追悼と平和祈念に関する様々な事業を実施した。

遺影の登録・証言等の収集・映像制作、海外原爆展、被爆体験朗読ボランティア、ピースネット、平和ボランティア育成外国語講座、長崎国際平和映画フォーラムの実施 など

V 収益事業 ▶▶▶ 20,891,851円

原爆・平和に関する図書や平和意識啓発のためのグッズ等を原爆資料館のミュージアムショップで販売した。

- 【主な販売品】 書籍：「長崎原爆資料館(児童図書)」「原爆被爆記録写真集」「ながさき原爆の記録」等 11,564,574円(前年度比15.3%UP)
 物品：Tシャツ、折り鶴ストラップ、キーホルダー、ピンバッジ、ミニタオル等 12,075,327円(前年度比18.7%UP)

VI その他管理運営に係る費用 ▶▶▶ 2,853,258円

法人の事業を管理するため委員会、理事会、評議員会等を開催する費用等に支出した。

継承部会



子ども達にも被爆体験講話を行う継承部会員

自らの被爆体験や廃墟と化した長崎の街の様子、原爆の悲惨さ、非人道性などを修学旅行生や長崎の小中学校、一般の方々に語り、平和の尊さ、核兵器の恐ろしさを訴え続けている。また、6つの班に分かれ様々な活動を行っている。

会員数 / 44 人 平均年齢 / 80.5 歳
 (最年長 98 歳、最年少 72 歳)
 活動開始 / 昭和 58 年 2 月
 平成 27 年度活動実績 / 1,369 件 (175,641 人)
 ・小学校 570 件 ・中学校 428 件
 ・高等学校 244 件 ・一般 127 件

■被爆体験講話

依頼を受け原爆資料館等で被爆体験講話を行います。

■班活動

- ・ピーストーク研修班 ・原爆遺跡研修班
- ・軍縮週間市民のつどい班 ・広報班
- ・ピースネット交流班 ・継承交流班

現在 **98 歳!** **最年長の継承部会員・尾畑正勝さん**
 (被爆当時 27 歳) から元気をいただきました

2 年前に京都へ転居された尾畑さんが久しぶりに長崎へ帰ってきました。一人で京都から新幹線と特急を乗り継いで来たそう、相変わらず足腰もしっかりして、元気に階段を上ってきました。

尾畑さんは京都でも同志社大学や婦人会から呼びかけがあり、被爆体験講話を続けているそうです。

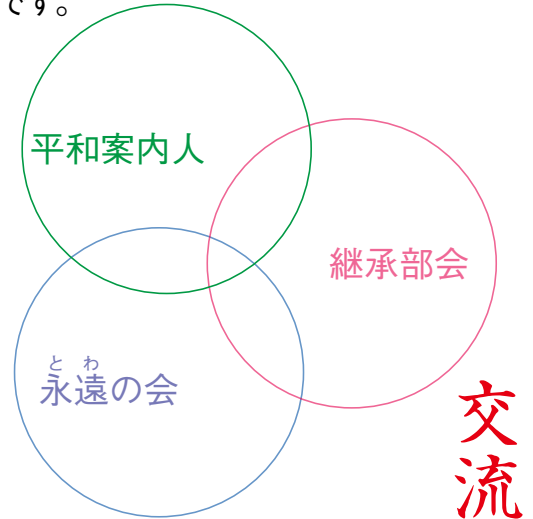
原爆資料館でちょうど行われていた永遠の会の朗読会を聞き、「テレビで見るとはあったが、初めて朗読を聞いた。生で聞くのがいい」と感心され、継承の担い手として永遠の会や平和案内人に頑張ってもらいたいとのエールもいただきました。



「長崎で活動している継承部会員もまだまだがんばってほしい」と激励をいただき、尾畑さんを目標に頑張ろうと決意を新たにしました。

あの惨禍から 70 年目の節目を迎えた昨年度、継承部会員は**過去最多**の 1,369 件の被爆体験講話を行い、175,641 人に被爆者の生の声を聴いていただきました。新しい継承部会員も加わり、できる限り多くの人に自分の体験を直接届けようと頑張っているのですが、体調不良を訴える方も増えています。

今年、継承部会員の平均年齢は **80.5 歳**。直接お話をすることもだんだん難しくなっているのが現状です。



継承部会では、ここ数年、「被爆体験の継承」という点に焦点をあてて様々な取り組みがなされてきました。

その一つとして、9 人の部会員で「継承交流班」が結成されています。継承交流班では、毎月一回は会合を開き、「被爆体験の継承のためには、自分たち継承部会員は何をするべきか」などが話し合われてきました。

その中で、「まず、被爆体験の継承の担い手となるような色々な取り組みをしている人たちとの意思疎通が必要だ」ということになり、交流会が開かれています。

1 回目は、平和案内人の班長、紙しばい会代表、朗読ボランティア「永遠の会」副代表と継承交流班 16 人が参加して行われました。2 回目は、朗読ボランティア「永遠の会」のメンバーと継承交流班など約 20 人が参加して意見交換をし、理解を深めました。

継承交流班では「若い人たちの熱意は大したもの。被爆体験の継承のためには、それに応える自分たち（被爆体験講話者）の熱意が必要なのだ」という感想も聞かれました。今後も、交流会を行い、被爆体験講話者の生き様や思いを伝えていこうという機運が増えています。

平和案内人



活動を開始した第6期生

被爆の実相と平和の尊さを伝えることを目的に、原爆資料館や追悼平和祈念館、被爆建造物等の案内をするボランティアガイド。平成16年度より育成講座を開始。昨年度は6期生が育成講座を修了し、5月から活動を開始している。

登録者数/185人 平均年齢/65.6歳
活動開始/平成17年4月
平成27年度活動実績(利用者数)/3,617人(32,073人)
・常駐ガイド 1,459人(10,853人)
・碑めぐり予約ガイド1,841人(18,353人)
・資料館予約ガイド 317人(2,867人)

■常駐ガイド

- ・毎日10時～16時
- ・場所 原爆資料館

■予約ガイド(碑めぐり・資料館予約)

事前にお申込みいただき、原爆資料館や追悼平和祈念館、被爆遺構を巡ります。

平和案内人としてのデビュー

5月27日、オバマ大統領の歴史的な広島訪問の日と、私の案内人としてのデビューの日が偶然にも重なり、忘れられないスタートとなりました。ワクワク、ドキドキの中、関西からの少人数のグループを40分間、案内しました。途中、涙を流される女性もおられました。周りを見渡す余裕もなく、終わってみれば男性の方からも「涙腺が弱くなってしまった」と言われました。ショックで言葉を失うというのが来館者の正直な感想だと思えます。

なにも私の説明が良かったのではなく、写真・展示物等を見ての落涙だったのです。それだけ言葉より目に見える物の方が、より強烈なインパクトがあるということ。ここに来て、館内を見学してもらうだけで、多言は必要ないように感じますが、ガイドとしてはそうも言うてはいただけません。発する言葉からも何かを感じとり、平和への思いを強くして帰ってもらえればと思っています。

平和案内人6期生
大島潤さん



【問合せ】長崎平和推進協会 ☎095-844-9922
<http://www.peace-wing-n.or.jp/>

とわの会 永遠の会



朗読会「9日を忘れない」

体験記等の朗読をとおして被爆の実相を伝える朗読ボランティア。平成24年度から2年間の追悼平和祈念館における育成講座修了後、活動を開始。現在は、定期朗読会、外部派遣、祈念館常駐、黒本発掘の4チームに分かれ活動を行っている。

登録者数/63人 平均年齢/62.8歳
活動開始/平成26年4月
平成27年度活動実績(聴講者数)/102件(4,624人)
・定期朗読会3件・朗読派遣33件
・常駐朗読61件・その他5件

■常駐朗読

- ・毎週土曜・日曜13時～15時
- ・場所 追悼平和祈念館

■朗読会「9日を忘れない」

- ・毎月9日11時2分～約30分
- ・場所 原爆資料館いこいの広場

■外部派遣

学校や公民館等ご希望の場所に伺い、朗読を行います。

定期朗読会「十代の原爆」開催



「初めて聞きました。これからも続けてほしい」などの声をい

6月12日、追悼平和祈念館交流ラウンジにおいて、「被爆体験を語り継ぐ永遠(とわ)の会」による今年度初めての定期朗読会「十代の原爆」を開催しました。今回は、祈念館で現在開催している企画展「十代の原爆」にあわせ、学徒報国隊の少年たちの被爆体験を中心に、開戦から終戦そして戦後の日々を朗読で伝えました。約50人の方に聞いていただき、来場者からは「10代の体験記なので、想像するこ

とができて苦しい」
「初めて聞きました。これからも続けてほしい」などの声をいただきました。これからも研修を重ねつつ、朗読をとおして多くの方々に被爆の実相を伝えていきます。今年度の定期朗読会は、10月16日と来年2月12日に実施予定です。



【問合せ】追悼平和祈念館 ☎095-814-0055
<http://www.peace-nagasaki.go.jp/>

7/23 SAT

長崎平和音楽祭

Vol.31

時間 14時～16時
場所 原爆資料館ホール
主催 長崎平和音楽祭実行委員会
共催 長崎平和推進協会
入場料 一般千円、中高生五百円

被爆者で故・山口仙二さんの半生を描いた合唱構成「ノーモア・ヒバクシャ」。その他、民族楽器の調べ、朗読劇「風の電話ボックス」、鎮魂歌独唱もあります。



7/24 SUN

被爆71年・第28回
ながさき平和大集会

時間 13時30分～15時30分
場所 原爆資料館ホール
主催 核兵器廃絶地球市民長崎集会
実行委員会
共催 長崎平和推進協会

- 永遠の会による被爆体験記朗読
- 第9回秋月平和賞授賞式
(受賞記念講演 土山秀夫氏)
- 高校生平和大使の報告・決意表明
- 被爆者歌う会「ひまわり」合唱

8/1 MON ~ 9 TUE

被爆71年
ナガサキ原爆写真展

時間 8時30分～18時30分
(初日は13時～)
場所 追悼平和祈念館交流ラウンジ
主催 長崎平和推進協会
写真資料調査部会
共催 追悼平和祈念館

今年は米国国立公文書館で収集した写真の中から「廃墟の中に生きる人々」を中心に約50点を展示します。



8/8 MON ~ 9 TUE

被爆体験を語り継ぐ
永遠の会
追悼空間内の常駐朗読

時間 8時30分～19時30分
場所 追悼平和祈念館追悼空間
主催 追悼平和祈念館

追悼平和祈念館所蔵の被爆体験記等の朗読を行います。通常では聞くことができない追悼空間での朗読です。

8/8 MON

平和の灯

時間 18時45分～20時30分
(雨天の場合は延期)
場所 平和公園内 平和の泉
主催 平和の灯実行委員会

平和の願いを込めて、約5千本の手作りキャンドルを点灯します。コンサートやバルーンリリースも行います。当日はキャンドルを販売もしていますので、平和へのメッセージを書きこみ点灯することもできます。



8/9 TUE

被爆体験を語り継ぐ
永遠の会
朗読会
「9日を忘れない」

時間 11時2分黙祷の後約30分
場所 原爆資料館いこいの広場
主催 追悼平和祈念館

「原子雲の下に生きて」など、子どもたちの被爆体験記を中心に朗読します。

8/7 SUN ~ 9 TUE

追悼平和祈念館
開館時間の延長

開館時間を20時まで延長します。約7万個追悼の明かりがともる地上部の氷盤も20時まで開放していますので、ぜひお立ち寄りください。



8/9 TUE

平和祈念式典
屋内会場のお知らせ

時間 9時50分～(予定)
場所 原爆資料館ホール

毎年、平和祈念式典を追悼平和祈念館の交流ラウンジにて放映していましたが、原爆資料館ホールに変更になりました。長崎ブリックホール大ホール(9時30分～)でも行います。

原爆死没者名簿風通し



5月26日、追悼平和祈念館交流ラウンジにおいて、原爆死没者名簿の風通しが行われました。

長崎市職員により一冊一冊整然と並べられ、11時2分に黙祷が捧げられた後、職員が一枚ずつ丁寧に名簿をめくり外気にあてました。

風通しを終えた名簿171冊（168,793人分）は、祈念館の追悼空間の名簿棚に納められ、8月9日の平和祈念式典に奉安されます。

長崎の若者が
平和への
取り組みを

アジア青年平和交流事業
自分たちが考える国際・

平和交流プログラム

企画募集、

発表・審査会のお知らせ

今年も、長崎県内の若者による「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」の企画を募集します。若者らしい自由な企画をお待ちしています。

また、若者自身の手でプログラムの実施に取り組んでもらう前に、応募のあった企画を協会からの委託事業として認定するための発表審査会を開催します。長崎の若者の企画力をぜひご覧ください。

実際に取り組んだ企画の成果報告会は、来年3月に開催予定です。

- ① 募集期間 6月15日～8月31日
- ② 募集対象 長崎県内の高校生、大学生
- ③ 募集テーマ 自分たちが考える国際・平和交流プログラム

発表・審査会

日時：9月11日（日）

13：30～16：30

会場：追悼平和祈念館地下2階
交流ラウンジ



■昨年度認定された4チームの企画■



長崎外国語大学
「国際交流プロジェクト」



長崎大学
「Peace'story JPN」



長崎県立大学
「金村研究室」



活水高等学校平和学習部
「ふりそでプロジェクト」

通常理事会・定時評議員会を開催しました

【理事24人】

(理事長) 横瀬 昭幸 (副理事長) 船山 忠弘、升本 由美子
今福 雅彦、大倉 信弘、小笠原 一弘、小野原 善一郎、川副 忠子、
北川 淳、塩田 淑文、下窄 英知、末永 浩、谷口 稜暉、
中嶋 照次、中島 正徳、中村 明俊、中村 キクヨ、中山 明子、
深堀 好敏、本田 貞勝、榎 洋子、正林 克記、三根 真理子、吉田 睦子

【監事2人】 佐藤 宏文、山本 博貴

【評議員25人】

秋吉 直美、尼崎 正明、池田 昌平、内田 伯、金富 竹志、河野 武士、
熊江 雅子、桑原 伸良、佐古 竜二、芝野 由和、進藤 卓也、
中川 正仁、仁田 豊文、林田 克己、平川 茂子、平山 サナエ、
船本 貴之、牧 清、増沢 一彦、松尾 博臣、水町 初江、宮下 正己、
山口 八重子、山本 正興、渡部 明

5月16日に通常理事会を、同月30日に定時評議員会を、原爆資料館平和学習室において開催いたしました。
通常理事会では、平成27年度の「協会事業報告」、定時評議員会では、平成27年度の協会決算が承認されました。また、人事異動に伴う新任の評議員と理事が選任されました。
平成28年5月30日以降の理事・監事、評議員の方々は次のとおりです。

(敬称略)

今年も「被爆者健康講話」が始まりました

長崎大学原爆後障害医療研究所と連携して、被爆者の方の健康維持に役立つ健康講話を6月から来年3月まで毎月1回(原則第3木曜日)に全10回、長崎会場と五島会場で開催します。

第1回は6月30日に、長崎大学原爆後障害医療研究所の高村昇教授に「解ければあなたも医者になれる?生活習慣病クイズ」をテーマにご講話いただきました。被爆者の方だけでなく、一般の方も参加いただけます。

皆さまのご来場をお待ちしています。



	日時	場所	テーマ	講師
第2回	7月21日(木) 14:00~15:00	追悼平和祈念館研究室 福江総合福祉保健センター	知っておきたい エコノミー症候群	長崎大学医学部保健学科 吉田浩二助教
第3回	8月18日(木) 14:00~15:00	追悼平和祈念館研究室 福江総合福祉保健センター	感染を予防するための のからだづくり	長崎大学原爆後障害医療研究所 浦田秀子教授

【問合せ】 追悼平和祈念館 ☎ 095-814-0055 <http://www.peace-nagasaki.go.jp/>

原爆死没者の遺影・氏名登録及び体験記募集

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館では、原爆死没者の方のご遺影やお名前のご登録(原則遺族の方から)を募集しております。お寄せいただいたご遺影やお名前は、長崎・広島両祈念館で公開いたします。また、被爆の実相を後世に伝えるために、被爆体験記も募集しております。皆さまのご協力をお願いいたします。

【問合せ】 追悼平和祈念館 ☎ 095-814-0055 <http://www.peace-nagasaki.go.jp/>

「会員の広場」にお便りをお寄せください!

平和推進協会では、会員の皆さまよりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆さまの声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。

✉ E-mail アドレス : info@peace-wing-n.or.jp
〒852-8117 長崎市平野町7-8 (公財) 長崎平和推進協会「会員の広場」係

*投稿は、200字以内でお願いします。また、匿名の投稿は、ご遠慮ください。

世界の核弾頭の数

	ロシア	米国	フランス	中国	英国	イスラエル	パキスタン	インド	北朝鮮	合計
2015年 6月1日	~7,500	~7,200	300	250	215	80	100~120	90~110	<10	~15,700
2016年 6月1日	~7,300	~7,000	300	260	215	80	100~130	100~120	<10	~15,350

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供 <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。今年度まだ会費を納めていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。

お支払いただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。事務局までご連絡ください。

会費納入のお願い

- ◎ 山中 弘幸 (敬称略) 五千元
- ◎ 山本マツ子 三千元
- ◎ 匿名 三千元
- ◎ 匿名 二千元
- ◎ 匿名 二千元
- ◎ 匿名 二千元

寄付者紹介

ありがとうございます

- ◎ 維持会員 111人
 - ◎ 賛助会員 144人
 - ◎ 学生会員 12人
- (平成28年6月20日現在)

会員数報告